

筑波山地域ジオパークを巡る

酒蔵ツーリズム^{※1}

～地域資源を観光にどう活かすか～

わが国は東京オリンピック、パラリンピック2020を直前に控え、世界中のお客様を日本に呼び込むべく各所で工夫を凝らしている。しかしながら、我が郷土、筑波山地域を訪れる外国人観光客は一部を除いて極めて少ない。^{※2}

このようなとき、地域のさまざまな資源を地域の人たちがあらためてもう一度見直し、その価値を国内外に発信し、あらたな観光客が訪れてくれる地域として活性化することが緊急の課題となっている。

おりしも、筑波山地域ジオパークが6市（つくば市・笠間市・石岡市・桜川市・かすみがうら市・土浦市）を舞台に発足した。この地域では、霞ヶ浦や関東平野にそびえる日本の百名山「筑波山」を仰ぎながら、常陸風土記や万葉の時代より、豊かで清冽な水源に育まれた大地の上に産業と文化が発展してきた。

今般、地域資源を観光にどう活かすかのテーマのもと、そのスタートとして「筑波山地域ジオパークを巡る酒蔵ツーリズム」と題し、この地域の自然、歴史と人々の暮らしを見つめ直すことを目的としたシンポジウムを開催する。

^{※1} 佐賀県鹿島市の登録商標です

^{※2} 本シンポジウムの目的は、この地域におけるインバウンド戦略です

日 程 2020年2月15日(土) 14時00分～20時00分

会 場 Tomoa（地域交流センターともべ）マルチホール
笠間市友部駅前1番10号 友部駅南口に隣接

参加費 無料 ※意見交換会は参加費 3,000円

申込方法 事前申込〔2月7日(金)まで〕 申し込み状況によっては当日受付も可

筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局（笠間市観光課）

TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146 メール geo001@city.kasama.lg.jp

※電話の場合、平日の午前8時30分～午後5時00分に限りです。

プログラム

14:00～14:10	開会あいさつ：つむぎつくば理事長 / 来賓あいさつ：山口伸樹氏（笠間市長）
14:10～14:20	イントロダクション
14:20～15:00	基調講演「ジオパークと地域振興～酒蔵の魅力～」 久田 健一郎氏（筑波大学教授 生命環境系地球進化科学専攻）
15:10～15:50	関連講演「地域ブランド化につながる酒蔵ツーリズムの可能性」 ～地域の自然・風土・文化を体感するツーリズムとして～ 杉野 正弘氏（日本酒蔵ツーリズム推進協議会 事務局長）
15:50～16:00	休憩
16:00～17:30	パネルディスカッション「笠間にインバウンドをどのように展開するか」（仮） <パネリスト> 久田健一郎氏（講師）、杉野正弘氏（講師）、 須藤源右衛門氏（須藤本家 代表取締役）、 森永篤史氏（笠間焼協同組合青年部部長）、 堤 徳郎氏（筑波山地域ジオパーク認定ジオガイド） ファシリテーター 山本美和氏（筑波山地域ジオパーク認定ジオガイド）
17:45～20:00	笠間の地酒を飲みながら意見交換会 意見交換会参加費 3,000円/人

主催：NPO つむぎつくば / 共催：笠間市、筑波山地域ジオパーク推進協議会
後援：一般社団法人 笠間観光協会（予定）